

発表が次のように行なわれた。

- (i) マネジメントシステムの創造的過程
発表者：前 MIS 研究会主査 松田武彦教授
- (ii) MIS…理論と実際
発表者：野村総合研究所 山田善晴氏
- (iii) 日本石油におけるプランニング活動の実際

発表者：日本石油 兼清賢介氏

今後も研究発表、テーマスタディー等を通じて、焦点をどこにあてていくかを検討していく予定。実務家の参加を大いに望みます。

(申込先：〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
成蹊大学工学部 星 孝雄)



中 部 支 部

任期満了の本告光男氏(中部電力)に代わり新支部長として岐阜大学の福田治郎氏を迎え、あわせて法人化に伴う本部規約の変更に関連し支部規約も変更し、気分も新たに支部総会、支部研究発表会から74年度活動のスタートを切った。活動の中心である月例研究会にはいつも20~25名の参加者がある。なかには片道1時間半もかかる所から、時には新幹線を利用してまで参加するほど熱心な会員もいて、研究会の後、喫茶店、飲屋へと発展していくこともしばしばである。

74年度の活動状況は次のとおり。

(1) 会議関係

支部総会 1回、運営委員会 2回、幹事会 4回。

(2) 講演会

50.1.25 新日鉄 矢部 真氏
「企業のためのOR」

これは本部の月例講演会を兼ねて行なった。約40名の参加者があり、好評であった。

(3) 研究発表会 49.3.9

会員だけではなく広く学生にも参加を呼びかけ、15件の研究発表を2会場に分けて行ない盛況であった。締めくくりとして村手理事(名古屋鉄道)による特別講演「リトル・ワールドについて」があり、続いて懇親会を行なった。

(4) 研究会

- 1) 49.4.20 名城大学 中川覃夫氏
「最近の信頼性理論における話題」
- 2) 49.5.18 南山大学 飯原慶雄氏
「確率計画法」
- 3) 49.6.15 中部電力 田中庸平氏
「電力負荷曲線の実態調査」

4) 49.7.20 名古屋市立大学 岩橋亮輔氏
「離散系の最適制御について」

5) 49.9.14 愛知県庁 後藤欣之輔氏
「愛知県の新しい総合計画について」

6) 49.11.16 電々公社 吉野玄一氏
「バイオリズム理論の科学性と有効性」

7) 49.12.21 南山大学 田中栄一氏
「数理計画法について」

(5) 見学会

8月7日、13名で中部電力浜岡原子力建設所を見学した。1号機が試運転間近ということで、緊張した空気の中で中電の中村係長からユーモアを混ぜて2時間半にわたって解説・案内していただき、一同認識を新たにした。

(6) 懇親ハイキング

恒例のハイキングを6月9日東海自然歩道御嵩コースで行ない、約15kmのコースを全員元気に踏破した。とくに2人のN氏は奥様同伴で参加され、独身者を口惜しがらせた。

(7) 懇親会

3月9日、研究発表会の後に懇親会を行なった。当時学会会長だった小野先生や、会員ではないが当日研究発表を行なった会員予備軍ともいべき学生など20余名がカニ鍋をつつき、にぎやかに談笑し大いに親睦を深めた。

(8) 刊行物

1) 支部ニュース…行事の案内、意見交換、会員消息その他。9回発行。

2) 支部ノート…研究会の記録を研究会欠席者へも送る目的で発行していたが、印刷費がかさむので2回発行し、以後中止している。

3) 支部研究発表会アブストラクト。

(田中庸平記)